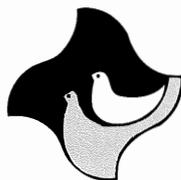


北海道PTA連合会

217号



会 報

札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6階/TEL(011)251-6937 FAX(011)210-0929 <http://www.hokkaido-pta.jp>

『ピンチはチャンス！』 時代に寄り添ったPTAへ

北海道PTA連合会

会長 後藤 一樹

令和5年度、北海道PTA連合会の会長を務めます、石狩管内江別市立中央中学校PTA会長の後藤一樹と申します。全道各地PTA会員の皆様、そして教育関係諸団体の皆様におかれましては、日頃より北海道PTA連合会の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスに翻弄されたこの三年あまり、今ようやく明るい兆しが見え始めてきました。様々な制限も緩和され、社会全体の動きが活発化してきています。私たちは新型コロナウイルスの蔓延という過去に前例のない状況を目の当たりにしました。誰が悪いわけでもない、やり場のないもどかしさの中で新しい生活様式を実践し、互いに思いやりながら日々の生活を送ってきました。当たり前だと思っていたことが、当たり前ではないことに気付かされたこの数年、PTA活動においても各地で少しずつ変化し始めています。一時は全ての活動を中止せざるを得ない状況もありましたが、三密を回避しながら出来る活動を模索し実践した学校、会議や研修会をリモートやハイブリット形式にして開催した学校、委員会制を廃止し活動ごとに参加募集をする形に変えた学校、負担の大きかった活動を見直すために規約改定を行った学校など、様々な創意工夫をこらして少しずつ前に進んでいます。

「ピンチはチャンス！」という言葉があります。今まで前年度踏襲が常とされ、なかなか組織変革しにくい状況だったPTAも、新型コロナウイルスというピンチによって、時代に寄り添ったPTA組織に変革するチャンスに変えた事例を多く耳にすると「PTAはまだまだ変われる」と実感しました。PTAの本来あるべき姿は、保護者と教職員が互いに良好な関係を築き、切磋琢磨することで子どもたちの成長に寄与することです。主語は「子ども」でなければなりません。たびたび耳にする「PTA不要論」。これはコロナ禍以前からもよく話題に上がるワードです。共働きの家庭が大多数を占める現在、「PTAなどやっている場合ではない」と聞くこともあります。確かに平日の昼間や夕方に学校へ出向いて活動することが難しい状況は火を見るよりも明らかです。しかし、これは私自身の考えと前置きさせていただきますが、それはPTAが悪いのではなく組織の進め方に問題があるだけだと思っています。先ほども申上げた通りPTAは「子ども」が主語の組織であり、保護者と教職員が同じ方向を向いて、子どもたちを全力で応援する組織です。保護者や教職員が強制的に活動をさせられるという状況こそが間違っていると考えます。可愛いわが子が一日の大半を過ごす学校です。そう考えると「子ども」が主語のPTA組織が不要という考えには至らないと思っています。

北海道PTA連合会は全道各地の単P、地区Pからなる組織です。大きなまち、小さなまちの様々な事例が集積します。その事例を皆で共有し、課題解決の力になれるよう各地域に寄り添っていきたくと思います。「親の笑顔は、子の笑顔」子どもが笑顔でいるためには大人が笑顔でいる必要があります。明るく楽しく元気に活動して、共に北海道の子どもたちへ笑顔を届けましょう。

令和5年度の北海道PTA連合会の活動がスタート!

6月10日(土)、全道各地区の理事・代議員の出席のもと、安全互助会総会、理事会と総会が開催され、令和5年度の北海道PTA連合会(道P連)の活動がスタートしました。

理事会に先立ち、北海道PTA安全互助会総会が開催され、東京海上日動札幌支店金融公務課課長海保敬章様よりご挨拶をいただいたのち、令和4年度の事業報告、決算報告、監査報告、令和5年度の事業計画案、会計予算案について審議が行われ提案通り承認されました。

総会ではご来賓として、北海道教育委員会教育長 倉本博史様よりご祝辞をいただきました。また、北海道小学校校長会会長 森田智也様、北海道中学校長会会長 森田聖吾様、北海道公立学校教頭会会長 野田隆之様、札幌市PTA協議会会長 中野吉朗様、北海道高等学校PTA連合会会長 村井為敦様にご臨席を賜りました。

議事では、令和4年度の会務・事業活動報告、会計決算報告等が承認された後、令和5年度の活動の骨子案、事業計画案、会計予算案等の審議が行われ、提案通り承認されました。

役員改選では、後藤一樹氏が会長に任命されるとともに、11名の副会長、1名の顧問(前会長)、3名の監査の皆様が選出されました。

総会の最後には、6団体と個人4名に対し、北海道PTA連合会会長表彰が行われました。



令和5年度 北海道PTA連合会役員 (敬称略)

役 職	氏 名	所 属	
会 長	後 藤 一 樹	1 ブ ロ ッ ク	石狩管内PTA連合会
副 会 長	廣 瀬 堅 一	1 ブ ロ ッ ク	小樽市PTA連合会
	林 亨 亨	2 ブ ロ ッ ク	上川北部PTA連合会
	駒 野 圭 史	3 ブ ロ ッ ク	函館市PTA連合会
	若 林 徹 徹	4 ブ ロ ッ ク	胆振東部PTA連合会
	清 水 達 也	5 ブ ロ ッ ク	釧路管内PTA連合会
	太 田 実 保	会 長 指 名	石狩管内PTA連合会
	谷 淵 友 美	会 長 指 名	南空知PTA連合会
	濱 口 憲 太	会 長 指 名	釧路市PTA連合会
	工 藤 雅 人	北 海 道 小 学 校 長 会	
	松 橋 辰 吾	北 海 道 中 学 校 長 会	
	橋 本 理 恵	子 育 て 代 表	旭川市PTA連合会

令和5年度 道P連監査・教師代表委員・ブロック代表子育て委員 (敬称略)

顧 問	菊 川 哲 平	2 ブ ロ ッ ク	上川南部PTA連合会
監 査	石 本 真 志	3 ブ ロ ッ ク	渡島PTA連合会
	山 田 理 絵	4 ブ ロ ッ ク	胆振西部PTA連合会
	松 永 香	5 ブ ロ ッ ク	釧路管内PTA連合会
教 師 代 表 委 員	堀 智 行	組 織・ 連 携	小 樽 市
	赤 井 輝 人	教 育・ 環 境	千 歳 市
	佐々木 めぐみ	子 育 て	千 歳 市
ブ ロ ッ ク 代 表 子 育 て 委 員	高 田 善 公	1 ブ ロ ッ ク	石狩管内PTA連合会
	中 島 登 詩 子	3 ブ ロ ッ ク	函館市PTA連合会
	石 倉 亮 子	4 ブ ロ ッ ク	南空知PTA連合会
	佐 藤 真 也	5 ブ ロ ッ ク	帯広市PTA連合会

事 務 局

事 務 局 長	松 浦 宣 仁	札幌市中央区北1条西3丁目STV時計台通ビル6階 TEL 011-251-6937 (北海道PTA連合会) TEL 011-221-7680 (北海道PTA安全互助会) FAX 011-210-0929 Eメール info@hokkaido-pta.jp
事 務 局 次 長	出 村 好 孝	
事 務 局 員	城 野 文 久	
統 括 ア ド バ イ ザ ー	谷 垣 徳 篤	
組 織 運 営 ア ド バ イ ザ ー	平 田 弘 子	

令和5年度北海道PTA連合会 ～基本方針～

私たち大人は、夢を持ち、未来を切り拓く子どもたちの幸せのために、何ができるか、何をしなければならぬかを考え判断し行動することが求められます。また、子どもたちの健全な成長のためには、私たち大人が自ら学び、子どもたちに範となる行動を示していくことが大切です。

それらの点を踏まえ、次の3点を基本方針として活動を推進します。

- 会員の研修活動の充実をとおり、お互い高め合うとともに家庭教育力の充実を図り、豊かな心をもった子どもの育成に努めます。
- 本道の教育振興のために、地区PTA連合会と緊密な連携を図り、道P連事業の充実と教育課題の解決に努めます。
- 家庭・学校・地域そして行政との連携・協働を進め、子どもたちを取り巻く教育・生活環境の改善に努めます。

グローバル化や情報化、少子高齢化など今日の社会環境はめまぐるしく変化しています。そのことに伴い、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化し、新たな問題も起きています。また、コロナの感染拡大に伴い、生活様式も一変しました。そのような中で、私たちは、高度化・複雑化する諸課題へ対応しながら、子どもたちが安心して生活できる環境、子どもたちを安心して育てられる環境づくりのために、責任をもって活動していくことが求められます。

未だ収束しないコロナ禍にあって、PTAとしての活動をどのように進めていくのかを検討しながら、活動を進めていきます。

令和5年度の課題と活動の基本として以下の点が挙げられます。

- ① 子どもたちの健全な成長を図っていく上での課題は多くあります。コロナ禍に対応した北海道ブロック研究大会はじめ、各地区P連や市町村P連、単位PTAの各種研究会・研修会をとおりして、諸課題についての実態把握を行うとともに解決に向けた討議を行っていくことが大切です。「地域とともにある学校づくり」「子どもたちの永遠の応援団としての家庭教育」「コロナ禍での子どもたちにとって楽しい学校生活」「笑顔で子どもたちと接するための家庭・学校・地域の連携」「情報化社会の中で子どもたちを守る活動」「自分たちが幸せになるためのまちづくり」等について、PTAとして今、求められていることは何か、その中で何ができるか、何をしなければならないか、また、私たちが将来の子どもたちへこの活動のバトンを繋げていくためにはどうすべきかを追求していきます。
- その中で、各種研究会・研修会をとおり、会員一人一人が研鑽を積み、お互いに学び合い高め合い、そのことを子どもたちの健全な成長に結びつけていくことが大切です。
- ② 地区P連をとおりして、市町村P連・単位PTAとの情報の共有化を図り、道P連事業の充実と円滑な運営を進めながら、地区P連・市町村P連・単位PTA等の活動の活性化を図っていくことが大切です。そのためには、理事会や地区事務局長会、委員会等における各地区P連の情報交流や「会報」「委員会だより」「道P連ホームページ」「ブロック連絡会での道P連や委員会からの説明、地区P連の活動交流」など、情報の共有化に向けた取組を充実させていくことが大切です。
- ③ 子どもたちの健全な育成を図っていくためには、子どもたちを取り巻く様々な課題解決や教育・生活環境の整備に結びつくよう、家庭・学校・地域・行政・教育関係諸団体との連携・協働をさらに進めていくことが大切です。

R5年度の各委員会の取組

【組織・連携委員会】

- 1 研究テーマ 『ともに学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方』
- 2 研究の視点
研究テーマを追究するためには、委員会がこれまでの成果を踏まえ、各PTA活動の推進に役立つ有効な情報を主体的に発信することが重要であることから、次の2つの視点に基づき活動を進めます。
 - 持続可能なPTA活動・組織
 - ポストコロナ時代のPTA活動
- 3 研究の内容
 - ①これまでの成果と課題を踏まえ、コロナ禍での挑戦・体験・学びを止めないPTA活動の推進等の取組を生かし、ポストコロナで進化するPTAの姿についてさらに究明していきます。
 - ②現研究テーマ・視点・具体的な取組について継続研究とし深化を図ります。
 - ③令和5年度札幌大会での提言について協議を継続し、サポートしていきます。

【教育・環境委員会】

- 1 研究テーマ 子どもとともに 大人も学び合い 心豊かな共育を目指して
～子どものために、大人がどう行動するか～
- 2 研究の視点
今日的な教育課題やPTA活動に関わる問題点等のうち、子どもの教育、生活・教育環境等に関することをテーマとして研究・協議し、全道の研究や実践の指針を提供することをねらいとしています。
子どもの健やかな成長のためには、大人の立場から子どもを取り巻く環境を見取り、その課題を把握し、大人が手をつないで解決に向けた具体的な取組の推進に努力していくことが重要であり、下記の研究内容について研究・協議を進めていきます。
- 3 研究の内容
 - ①研究内容1「子どもの教育活動」に関わって取り組みます。
 - ・令和6年度の提言発表に向けて、研究の具体を絞り込む。 ・令和6年度の提言発表に向けた事例収集、調査分析
 - ②研究内容2「大人の環境整備」に関わって取り組みます。
 - ・令和9年度の提言に向けた重点・具体の決定 ・令和9年度の提言に向けた事例収集等
 - ③各地区の実践交流や研究大会の報告を行い、研究集録の作成を進めます。
 - ・令和6年度の提言発表を視野に入れた各地区PTA活動における実践交流 ・各地区PTAの研究・研修活動の充実に資する交流

【子育て委員会】

- 1 研究テーマ 全道統一スローガン 「今 こころ輝いて 親として 人として」
今年度の研究テーマ 「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」
- 2 研究の視点
今日、グローバル化や情報化、少子高齢化など、社会環境のめまぐるしい変化の中、子どもたちに「豊かな心」を育み「生きる力」を身につけさせるには、親自身も学び続け、生き方を子どもたちに示していくことが大切である。親は子どもにとって一番身近で深く関わる存在であり、基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、思いやりの心、善悪の判断など、「生きる力」の基礎的な資質や能力は家庭教育の中で培われる。親が家庭内での協力関係を築くとともに、家庭・地域・学校が三位一体となって連携し、新しい時代の子育てに努めることが重要です。
そのため、本委員会は子どもたちを取り巻く環境を丁寧に見取り、課題を把握し、共に学び合いながら解決に向けた取組を推進し、道P連のHPを活用し、地区並びに単位PTAへ情報を継続的に発信・提供する発信源として活動の充実に努める。HP上にブロック各地での活動の様子等を調査しタイムリーに掲載し、情報の共有化や話題を広げる活動実践等の交流の場とします。
- 3 研究の内容
 - ①子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方について取り組みます。
 - ②「生きる力」を育てる家庭教育のあり方について取り組みます。
 - ③子育て委員会発の話題提供源としての広報活動について取り組みます。
 - ④令和7年度提言に向けた取組の準備を推進します。

令和5年度 地区PTA研究大会・子育て研修会実施計画

令和5年6月10日現在

ブ ロ ック	No.	地 区 名	地 区 研 究 大 会		地 区 子 育 て 研 修 会		開 催 形 態
			開催日	開催地	開催日	開催地	
1	1	石 狩 管 内	11月11日(土)	江別市	11月11日(土)	江別市	同同
	2	小 樽 市	10月24日(火)	小樽マリンホール	9月2日(土)	小樽いなきたコミセン	別
	3	後 志	9月3日(日)	古平町	9月3日(日)	古平町	同同
2	4	上 川 北 部	8月26日(土)	名寄市(風連)	8月26日(土)	名寄市(風連)	同同
	5	旭 川 市	11月5日(日)	旭川地場産センター 神楽公民館	9月3日(日)	神楽公民館	別
	6	上 川 南 部	8月19日(土)	南富良野町立南富良野中 学校	8月19日(土)	南富良野町立南富良野中 学校	同同
	7	稚 内 市	6月10日(土) 7月2日(日)	稚内市総合体育館 稚内市総合文化センター	6月10日(土) 7月2日(日)	稚内市総合体育館 稚内市総合文化センター	同別
	8	宗 谷 管 内	11月11日(土)	中頓別町	11月11日(土)	中頓別町	同別
	9	留 萌 管 内	9月23日(土)	遠別町	9月23日(土)	遠別町	同同
3	10	函 館 市	11月11日(土)	函館市(函館大学)	10月頃	函館市(未定)	別
	11	渡 島	10月15日(日)	八雲町 (八雲町立八雲小学校)	10月15日(日)	八雲町 (八雲町立八雲小学校)	同同
	12	檜 山	11月18日(土)	乙部町・ハイブリッド	11月18日(土)	乙部町・ハイブリッド	同同
4	13	南 空 知	11月3日(金)	夕張市(石炭博物館)	7月22日(土)	岩見沢市(まなみーる)	別
	14	北 空 知	11月11日(土)	雨竜小中学校体育館	11月11日(土)	雨竜小中学校体育館	同別
	15	胆 振 東 部	10月18日(水)	苫小牧市	10月18日(水)	苫小牧市	同同
	16	胆 振 西 部	10月14日(土)	室蘭市	9月2日(土)	伊達市 (だて歴史の杜カチャーセンター)	別
	17	日 高 地 区	11月11日(土)	日高町 (門別町民センター)	11月11日(土)	日高町 (門別町民センター)	同同
5	18	オホーツク東部地区	11月11日(土)	小清水町(愛ホール)	11月11日(土)	斜里町 (ゆめホール)	別
	19	オホーツク中部地区	10月7日(土)	北見芸術文化ホール	9月2日(土)	美幌町民会館	別
	20	オホーツク西部地区	未定	未定	未定	興部町 (興部総合センター)	未定
	21	帯 広 市	11月19日(日)	とかちプラザ	11月19日(日)	とかちプラザ	同別
	22	十 勝 管 内	7月17日(月)	陸別町	7月17日(月)	陸別町	同同
	23	釧 路 市	10月28日(土)	教育大附属釧路義務教育 校 後期課程	9月中旬	コアかがやき	別
	24	釧 路 管 内	11月12日(日)	釧路町立遠矢小学校他 町村はオンライン参加	11月12日(日)	釧路町立遠矢小学校 他町村はオンライン参加	同同
	25	根 室 地 方	8月27日(日)	別海町生涯学習センター 「みなくる」	8月27日(日)	別海町生涯学習センター 「みなくる」	同同

各地区研究大会の紹介

(敬称略)

「コロナ禍での教育講演会」

日高地区PTA連合会

コロナ禍により、令和2年度、3年度は中止となっていた「日高地区PTA連合会研究大会 兼 日高地区PTA子育て研修会」でしたが、令和4年度は実施することができました。11月13日(日)、浦河町総合文化会館において行い、参加者は約200名でした。感染症対策として、参加者を会場の座席数の約50%とし、分科会を行わずに講演会のみとして、準備もスリム化しました。

講演会では、著名なフリーアナウンサーの笠井信輔氏を招き、「3人の子の父として、アナウンサーとして」という演題でお話をいただきました。3人のお子さんとの家庭でのこと、学校でのいじめ問題やPTA活動、悪性リンパ腫ステージ4と診断された闘病生活、アナウンサーとしての人生、震災でボランティア活動など、テンポの良い軽妙なトークで多様なお話をしていただき、あっという間の90分間となりました。講演後のアンケートでは、「子供たちに真剣に向き合っているからこそ、苦悩と葛藤があり、勇気づけられた。」「自分の家庭の子育てでの悩みと同じお話がありとても参考になった。」「ガンを克服し、より一層精力的に活動されている姿を見て、自分も頑張らなければと励まされた。」など、とても有意義であったという感想がたくさんありました。



子育てについて、また、人生にとって「引き算」である様々な苦難、それをどのように「足し算」として捉え直すか、死を覚悟した時の「生きる力」など、とても心に響く講演会となりました。

(文責 前日高地区PTA連合会事務局 田中豊人)

「どんな形でもなんとか開催を」

根室地方PTA連合会

2年ぶりのPTA研究大会であった。今年度の目標は、どんな形であっても開催し、次年度以降も続くであろうwithコロナの足がかりにすることであった。当初は、開催地である根室市内のPTA会員が一堂に集まって研修し、その様子や講演を他町がりモットで参加するハイブリット型での開催予定だったが、夏休み後の感染拡大が懸念される時期だったため、単位PTAは各地区の学校区に参集し、開催担当校より配信されるオンライン配信で研修を行うスタイルに変えた。

根室教育局の「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」と協力する形で、子どもを巡る今日的な課題から研修内容を決定し、講師に中谷通恵氏(NPO法人お助けネット代表)を迎え、「ゲーム・スマホ社会に生きる子どもたち～子どもを守り、未来へつなげる使い方～」の演題で講演をしていただいた。子どもの望ましい生活習慣を確立するための方法、子どもとメディアのより良い関係をつくる「家庭のルールづくり」の進め方を内容とした講演となった。生活の中に根付いているICT端末を効果的に活用していくために、本講座は家庭と学校が連携していくひとつの方向性を示すことができた。講演後は各校で意見交流会を実施し、アンケートをQRコードで返信していただいた。コロナの懸念から参加人数が例年よりも減少傾向にあったが、管内全40校、総勢約70名の参加があり、参加してすごく良かった92%、子どもの生活習慣を見直す意欲がすごく高まった85%など高評価の声が多く、今後もタイムリーな内容の精選が必要であると感じた。また、家庭でのSNSツールを利用する際の家庭ルールとして41件のアイデアが出るなど大変成果が大きい研修会となった。今後は参集型で交流する場をより多く持てるようにしていきたい。



(文責 前根室地方PTA連合会事務局 北見将嗣)

第70回 日本PTA北海道ブロック研究大会 札幌大会

1	開催期日	令和5年10月21日(土)～22日(日)																														
2	会場	【第1日目 分科会】	ロイトン札幌・情報交換会(ロイトン札幌)																													
		【第2日目 全体会】	カナモトホール																													
3	主催	日本PTA北海道ブロック協議会(札幌市PTA協議会・北海道PTA連合会)																														
4	主管	札幌市PTA協議会																														
5	後援	公益社団法人日本PTA全国協議会 文部科学省 北海道 札幌市 北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道小学校長会 札幌市小学校長会 北海道中学校長会 札幌市中学校長会 北海道公立学校教頭会 札幌市小学校教頭会 札幌市中学校教頭会																														
6	参加者	北海道内PTA会員並びに教育関係者																														
7	参加費	5,000円(情報交換会は6,000円)																														
8	大会スローガン	【いまこそつながろう、そして認め合おう】																														
9	大会主題	「北海道らしい教育環境をめざして」 ～広い大地と豊かな自然を誇る北海道で、多様性を認め合い、いじめ・孤立のない教育環境を実現したい～																														
10	大会日程	【第1日目 10月21日(土)】																														
		10:50	11:00	12:30	13:00	16:30	18:00	20:00																								
		運営者	運営打ち合わせ会議	受付	開会式・分科会	移動	情報交換会																									
		受付	(分科会毎)				(ロイトン札幌)																									
		【第2日目 10月22日(日)】																														
		9:00	9:30	9:45	10:30	12:15	12:30																									
		受付	アトラクション	全体会	記念講演	閉会行事																										
			(北海道札幌国際情報 高等学校吹奏楽部)																													
11	記念講演	講師	西田二郎氏(「未来のテレビを考える会」代表理事) 藤村忠寿氏(「未来のテレビを考える会」代表理事)																													
		演題	「明日の学び～これからの歩み方」																													
12	分科会テーマ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>分科会テーマ</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分科会</td> <td>組織運営</td> <td>コロナ禍で見直したPTA活動の実例から学ぶ組織運営 壮警町立壮警中学校PTA 中標津町立中標津東小学校PTA</td> </tr> <tr> <td>第2分科会</td> <td>家庭教育</td> <td>子どもに寄り添い、認め合い、絆を深める教育環境や会話力と学び 札幌市西区PTA連合会</td> </tr> <tr> <td>第3分科会</td> <td>学校支援</td> <td>学校・子ども・保護者がつながりあえる学校支援のあり方 札幌市中央区PTA連合会</td> </tr> <tr> <td>第4分科会</td> <td>地域連携</td> <td>子育てを支える学校と地域のつながり 札幌市白石区PTA連合会</td> </tr> <tr> <td>第5分科会</td> <td>食育・情報</td> <td>生きる力をはぐくむ食育とICT活用力 足寄町立足寄小学校PTA 小樽市立高島小学校PTA</td> </tr> <tr> <td>特別第1 Zoom分科会</td> <td>中学生討論</td> <td>SNSの使い方から子どもたちの今を知る 札幌市北区PTA連合会</td> </tr> <tr> <td>特別第2 Zoom分科会</td> <td>地域課題</td> <td>楽しくつながる令和のPTA 札幌市東区PTA連合会</td> </tr> </tbody> </table>							領域	分科会テーマ	担当	第1分科会	組織運営	コロナ禍で見直したPTA活動の実例から学ぶ組織運営 壮警町立壮警中学校PTA 中標津町立中標津東小学校PTA	第2分科会	家庭教育	子どもに寄り添い、認め合い、絆を深める教育環境や会話力と学び 札幌市西区PTA連合会	第3分科会	学校支援	学校・子ども・保護者がつながりあえる学校支援のあり方 札幌市中央区PTA連合会	第4分科会	地域連携	子育てを支える学校と地域のつながり 札幌市白石区PTA連合会	第5分科会	食育・情報	生きる力をはぐくむ食育とICT活用力 足寄町立足寄小学校PTA 小樽市立高島小学校PTA	特別第1 Zoom分科会	中学生討論	SNSの使い方から子どもたちの今を知る 札幌市北区PTA連合会	特別第2 Zoom分科会	地域課題	楽しくつながる令和のPTA 札幌市東区PTA連合会
領域	分科会テーマ	担当																														
第1分科会	組織運営	コロナ禍で見直したPTA活動の実例から学ぶ組織運営 壮警町立壮警中学校PTA 中標津町立中標津東小学校PTA																														
第2分科会	家庭教育	子どもに寄り添い、認め合い、絆を深める教育環境や会話力と学び 札幌市西区PTA連合会																														
第3分科会	学校支援	学校・子ども・保護者がつながりあえる学校支援のあり方 札幌市中央区PTA連合会																														
第4分科会	地域連携	子育てを支える学校と地域のつながり 札幌市白石区PTA連合会																														
第5分科会	食育・情報	生きる力をはぐくむ食育とICT活用力 足寄町立足寄小学校PTA 小樽市立高島小学校PTA																														
特別第1 Zoom分科会	中学生討論	SNSの使い方から子どもたちの今を知る 札幌市北区PTA連合会																														
特別第2 Zoom分科会	地域課題	楽しくつながる令和のPTA 札幌市東区PTA連合会																														

北海道PTA安全互助会制度の補償について

こんな時、見舞金が出ます。事故が発生したら、速やかに手続きをしましょう。

- <園児・児童・生徒(学校管理下外)傷害補償>学校の管理下外でのケガおよび死亡の見舞金
 - ・登下校中やご自宅でのケガ
 - ・自転車・ドライブでのケガ
 - ・スポーツ(少年団活動を含む)でのケガ
 - ・授業のない日の部活動中のケガ
- <PTA(活動中)傷害補償>PTA主催行事において起きたケガおよび死亡の見舞金
 - ・スポーツ行事や学年・学級レクでのケガ
 - ・研修活動でのケガ
- ※園児・児童・生徒の場合は学校管理下外に限ります
- <賠償責任補償(PTA)>PTA活動中の賠償責任を補償します
 - ・PTA主催のお祭りで、PTA役員の誘導ミスにより来場者がケガをした
- <賠償責任補償(PTA+子ども24時間)>園児・児童・生徒の賠償責任を24時間補償します
 - ・児童が自転車で通行人に衝突し、通行人がケガをした

未加入校はぜひご加入をお願いします。通年を通して、ご加入いただけます。

子どもたちの学校を離れての活動やPTA行事に安心して参加できるように、補償内容等をご理解のうえ、ぜひご加入いただくようお願いいたします。

<会費>

【園児・児童・生徒(学校管理下外)傷害補償】	被保険者1人につき	400円(1年間)
【PTA(活動中)傷害補償】	1世帯につき	195円(1年間)
【賠償責任補償(PTA)】	被保険者1人につき	18円(1年間)
【賠償責任補償(PTA+子ども24時間)】	被保険者1人につき	400円(1年間)

新たに加入を希望するPTAは、PTA安全互助会までご連絡ください(☎011-221-7680)

北海道PTA連合会
令和5年度

小・中学生総合補償制度

(団体総合生活保険)

子どもたちの笑顔あふれる活発な日常をお守りする「もしも」の際の「備え」です！

- ◆各学校でご加入いただく北海道PTA安全互助会制度の上乗せ補償として、各ご家庭で任意加入いただける制度をご用意しています。
- ◆学校内外を問わず、様々な危険から24時間、お子さまをお守りします。
- ◆本制度は年1度の募集となり、今年度募集は5月末をもって終了しております。あらかじめご了承ください。
- ◆詳細な補償内容や申込手続き方法は、例年4月に各学校で配布されるパンフレットをご確認下さい。北海道PTA連合会のホームページ(http://www.hokkaido-pta.jp/mutual_aid/compensation)からもご確認が可能です。



【引受保険会社】



東京海上日動火災保険株式会社

【お問い合わせ先】札幌支店金融公務課 ☎011-271-7285

札幌市中央区大通西3-7 北洋大通センター17階

23TC-000759 令和5年5月作成